

2016年4月1日

関係者 各位

株式会社日本ビジネス開発

=====
アーキテクトサービス提供に向けた活動を開始
サービス名:「アーキ・ベスロロジー (ArchBaselogy)」
=====

株式会社日本ビジネス開発(本社:大阪府大阪市西区江戸堀、代表取締役:石金 正己)は、2016年4月1日から、アーキテクトに関する各種サービス(アーキテクト支援サービス、サービス名:「アーキ・ベスロロジー (ArchBaselogy)」)提供の準備を開始し、順次、提供致します。これまでの金融系などの情報システム開発、ソフトウェア受託開発、ソリューション販売、アウトソーシングに次ぐサービス事業として位置付け、お客様には情報システム構築のいわゆる超上流工程から開発・運用・保守まで一貫したサービス体制を更に強化し、多様化した付加価値ある情報システムの提供を可能と致します。

弊社は、1979年以來、大阪、東京、名古屋に事業所を開設し、社会が求める付加価値の実現ができる“オンリーワン企業”を目指して挑戦を続けて参りました。この間に情報システムの役割・開発・利用環境は劇的に変化し、私共もこの変化に対応しながら事業を展開、この度、新たなサービスである「アーキテクト支援サービス」の提供に向け、人材育成・実施体制、事業所等のインフラ環境などを整備しつつ、順次、サービスを提供する事業環境を整えることができました。

今後は、多くのお客様から問い合わせを頂いております「業務・システム要件定義支援サービス」から順次、サービスを開始する予定です。

サービス内容に関してのお問い合わせは、文末<お問い合わせ先>をご覧ください。

<アーキテクト支援サービス「アーキ・ベスロロジー (ArchBaselogy)」の特徴>

アーキテクトが従事するいわゆる超上流工程は、属人的になりがちで担当によってそのプロジェクトの成否が決まってしまう。また、作業の内容・進捗が分かりづらい、人材が育成されにくいなどの課題があります。本サービスは、いわゆる超上流工程の支援サービスを提供するために、これら課題に対して、

- ① アーキテクトが従事する作業に関する作業プロセスなど基礎知識・スキルを蓄積する「AB リポジトリ(ArchBaselogy リポジトリ)」の構築と活用
- ② 「AB リポジトリ」に蓄積した基礎知識・スキルをコンテンツとした、アーキテクト人材を育成する「AB 研修育成プログラム」の活用
- ③ 「AB リポジトリ」に作業のナレッジなどを整理・蓄積しながら、現場作業をカイゼンするファシリテーションプログラムの活用

これらにより育成したアーキテクトによる作業支援サービスを提供します。

アーキテクトとして必要な基礎知識・スキルを身につけ、日頃、カイゼン意識を持ちながら、お客様とともに「きっちりとした作業」を行ってまいります。

<株式会社日本ビジネス開発について>

IT を基盤とした企業システムの提案や構築支援により、多様化するお客様のニーズにお答えをしてきたシステム構築会社です。これまでに蓄積した IT 関連のノウハウやサービスを、企業活動だけではなく、一人ひとりの『ヒト』を中心とした活動にも生かしてまいりたいと考えております。

会社名:株式会社日本ビジネス開発(Japan Business Development Inc.)

代表者:代表取締役 石金 正己

所在地:大阪本社 〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀 1 丁目 18 番 11 号小谷ビル 2F

東京本社 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 1-25 秋葉原鴻池ビル 7F

設立 : 1979 年 10 月

URL : <http://www.jbd.co.jp/index.html>

事業内容

- ① システム開発・保守運用
- ② ソフトウェア受託開発
- ③ ソリューション・商品販売
- ④ アウトソーシングサービス

<問い合わせ先>

株式会社日本ビジネス開発

担当:東日本営業部門 部門長 加藤慎吾(しんご)

アーキテクト推進担当 加藤立朗(たつお)

お問い合わせは、次のメールアドレス(ab-sales@jbd.jp)にお願いします。

【ご参考】

「アーキテクト」とは、建築家、設計者などの意味を持つ英単語。IT の分野では、対象分野によって、IT アーキテクト、システムアーキテクト、ソフトウェアアーキテクトなどと呼ばれる。ここでは、これらを総称している。

参考までに、「IT アーキテクト」は、戦略的情報化企画局面におけるビジネス/IT 上の課題を分析し、ソリューションの枠組みを策定するとともにソリューションアーキテクチャ(構造)を設計する。(引用:IT スキル標準概説書)

以上